



男子チームを代表してあいさつする沖見史哉君

(4日、和歌山市の紀三井寺陸上競技場前で)

# 県チーム健闘誓う

## 都道府県対抗駅伝の壮行会

和歌山陸上競技協会は4日、和歌山市毛見の紀三井寺陸上競技場玄関前で全国都道府

府県対抗駅伝大会に出場する県チームの壮行会を開いた。激励を受けた男女の選手が健闘を誓った。

全国女子駅伝は15日に京都市であり、コースは西京極陸上競技場を発着点とする9区間42・195キロ。全国男子駅伝は22日に広島県であり、平和記念公園前を発着点とする7区間48キロのコースで競つ。男女とも中学生から一般まで

が一本のたすきをつなぐ。

県チームは男子が中学生3人、高校生4人、一般・大学生3人の計10人、女子が中学生3人、高校生5人、一般・大学生5人の計13人が選ばれている。昨年の順位は男子が41位、女子が30位だった。

壮行会で和歌山陸上競技協会の南正晃副会長は「男女とも昨年以上の成績を期待している。選手に選ばれた責任を持って頑張ってほしい」と選手たちを励ました。

男子選手を代表して、みなべ町出身で和歌山北高校3年の沖見史哉君が「一人一人が和歌山に恥じない走りをし、目標に向かって頑張る」、女子選手を代表して関西大学1年の津田夏実さんが「全国で戦ったメンバーが多数いるので記録更新を目標に頑張る」とあいさつした。

女子チームの長山丞監督(神島高校教諭)は「昨年から強化の流れが芽を出し、全国大会で活躍する大学生や全国を経験した高校生が多数いて過去の和歌山県の中では最強のチームになった。県の歴史を塗り替えるため、県記録(2007年大会の2時間21分18秒)の更新を目指す」と抱負を語った。

男子チームの吉田克久監督(和歌山北高校教諭)は「中学、高校、一般でそれぞれの力を発揮して30番以内で走ることが目標。あと2週間で精いっぱい挑戦し、いい結果を残したい」と話した。沖見君、津田さん以外のメ

ンバーは次の皆さん。

### 【男子】

中学生Ⅱ家吉新大(湯川3年)、井瀬翔太(明洋3年)、小久保星音(西脇3年)▽高校生Ⅱ山根昂希(和歌山北3年)、都築勇貴(田辺工業1年)、野村優作(同1年)▽一般・大学生Ⅱ寺内将人(愛知製鋼)、中村悠二(同)、橋詰大慧(青山学院大学2年)

### 【女子】

中学生Ⅱ小倉稜央(海南3年)、田中美美(和歌山大学教育学部付属2年)、福岡真悠莉(明和3年)▽高校生Ⅱ岡奈津美(和歌山北3年)、清水梨穂(神島1年)、野村蒼(同2年)、前田愛海(同2年)、高石沙知佳(桐蔭2年)▽一般・大学生Ⅱ永岡真衣(シスメックス)、鹿嶋菜名(仏教大学1年)、橋本奈津(京都産業大学1年)、山本明日香(大阪芸術大学1年)